

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
差別と人権	伊藤 信也	講義	2		2	4	1,3
授業概要 授業目的	<p>1. この科目では、基本的人権と差別の問題を考えていきます。人権とは何か、人権はなぜ重要なのか、私たちの人権の実態はどのようなになっているのか、その歴史と現状について考えていきます。基本的人権という考え方は、フランス人権宣言などにおいて明文化されてきましたが、こうした人権の歴史的な形成の経過を学ぶとともに、その内容の発展を知ることによって人権の普遍的な意味を考えたいと思います。</p> <p>2. また、テーマ別に現代の差別問題についても考えていきます。どのテーマから取り上げるかは講義開始時にお知らせしますが、人種差別、性差別、国籍差別、部落差別、「障害者」差別など、世界と日本の様々な差別問題を取り上げる予定です。</p>						
到達目標	<p>①人権思想の歴史を正しく知り、人権概念の基本的知識を身につけること。 ②現代の差別問題の基本的様相を理解すること。 ③「デマ」や「フェイクニュース」に流されず、正確な知識と根拠を知って人権や差別問題と向き合えること。</p>						
回	学習内容						
1	現代社会と人権：授業概説						
2	近代的人権概念の誕生 ～人権の歴史（1）～						
3	イギリスの人権思想 ～人権の歴史（2）～						
4	近代的人権の特徴と課題 ～人権の歴史（3）～						
5	近代的人権の批判者たち ～人権の歴史（4）～						
6	人権から取り残された「女性」 ～人権の歴史（5）～						
7	人権から取り残された「植民地」「先住民」 ～人権の歴史（6）～						
8	現代の基本的人権と日本国憲法 ～人権の歴史（7）～						
9	現代の差別問題（1） ～人種差別の歴史と現在～						
10	現代の差別問題（2） ～「障害者」差別と優生思想～						
11	現代の差別問題（3） ～「性差別」から「ジェンダー平等」へ～						
12	現代の差別問題（4） ～在日外国人差別と「ヘイトスピーチ」規制～						
13	現代の差別問題（5） ～「部落」差別問題の構造～						
14	現代の差別問題（6） ～感染症と差別問題～						
15	21世紀の人権問題への視点を考える						
予習内容 復習内容	<p>予習：事前に提示した資料や参考文献に目を通しておく。 復習：プリントの内容を復習する。</p>						
教科書	なし。毎回プリントを配布します。必要な資料等もプリントで配布します。その他、参考文献は講義中に提示します。						
成績評価	<p>1. 講義中に実施する「ミニレポート」（意見提出。配点は約40%） 2. 講義の最終日に提出する「期末レポート」（配点は約60%）</p>						
実務経験							
その他 特記事項	講義は可能な限り工夫して進めます。対面授業の場合はドキュメンタリー・ビデオの上映など、映像による資料を随時使用していきませんが、遠隔授業になった場合、他の方法でバリエーションを検討したいと思います。人権問題や差別問題に関心のある学生の参加を求めます。						